



厚生労働省

# 下関労働基準監督署からのお知らせ

令和6年12月

## 業種別労働災害発生状況

○令和6年11月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署  
令和6年11月末現在

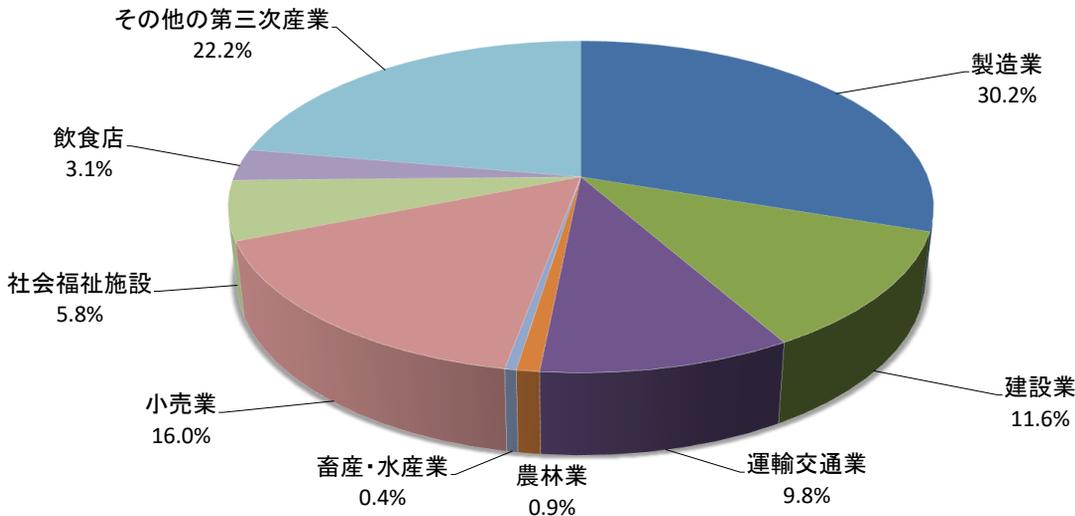
新型コロナウイルス感染症  
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減	増減率	うち転倒災害件数			
							死亡	休業災害	合計	構成比※
全産業	2 (1)	223	225	100.0%	+3	+1.4%	63	63	100.0%	28.0%
製造業	1	67	68	30.2%	+2	+3.0%	16	16	25.4%	23.5%
鉱業					±0	—				—
建設業	1	25	26	11.6%	+10	+62.5%	3	3	4.8%	11.5%
運輸交通業		22	22	9.8%	-6	-21.4%	5	5	7.9%	22.7%
貨物取扱業					-2	-100.0%				—
農林業		2	2	0.9%	-5	-71.4%				
畜産・水産業		1	1	0.4%	+1	+∞				
第三次産業	(1)	106	106	47.1%	+3	+2.9%	39	39	61.9%	36.8%
小売業		36	36	16.0%	+14	+63.6%	12	12	19.0%	33.3%
社会福祉施設	(1)	13	13	5.8%	-14	-51.9%	5	5	7.9%	38.5%
飲食店		7	7	3.1%	-2	-22.2%	3	3	4.8%	42.9%
その他の第三次産業		50	50	22.2%	+5	+11.1%	19	19	30.2%	38.0%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年11月末までに発生した労働災害は225人で、前年同期と比較して、3人増加しました。

製造業は、68人と前年同期と比較して2人増加しました。最も多い事故の型は「転倒」の16人で、前年同期と比較して4人増加しました。続いて多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の14人で、前年同期と比較して4人減少しました。

建設業は、26人と前年同期と比較して10人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の8人で、前年同期と比較して7人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の6人で、前年同期と比較して1人増加しました。

小売業は36人と前年同期と比較して14人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の12人で、前年同期と比較して7人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の7人で、前年同期と比較して3人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の63人で、前年同期と比較して17人増加しました。